

**令和 7 年度
はつらつくからぶ事業
事業説明・意見交換会
意見交換**

意見交換していただきたいこと

①地域包括支援センター、生活支援コーディネーターから：地域の高齢者の特性と課題と感じていることを共有してください。

②①を踏まえて、この地域で、介護予防の大切さや楽しさを住民に伝え、高齢者の興味・関心を引く教室を開催するために、どのようなことができるかを考えてください。

「はつらつくらぶ事業」におけるそれぞれの役割

●受託事業者

：各団体の強みを生かして、介護予防の大切さを伝える、継続して「やりたい」を引き出すような教室を開催

実施地区の地域包括支援センターおよび生活支援コーディネーターと積極的に連携し、事業の周知および教室終了後の支援を行う

●地域包括支援センター

：フレイル状態の方を改善させるケアマネジメント支援

- ・事業周知：介護保険サービス利用者へ（個別）
- ・教室終了後：参加者の個別支援（セルフケア）

●生活支援コーディネーター

：地域資源（通いの場、サロン等）の把握や創出

- ・事業周知：通いの場、サロンにて
- ・教室終了後：参加者と地域資源のマッチング
- ・教室終了後：参加者のグループ立ち上げ支援